

# 令和2年度シラバス 年間学習計画

教科	芸術	科目	書道 I	学科 学年 類型	普通科 1 年	単位数	2 単位
----	----	----	------	----------	---------	-----	------

学 期	月	学習単元 項目 教科書：書 I（光村図書）	定期 テスト	学習のポイント 留意事項 評価規準	備考 使用教材
1	4	○書写から書道へ ○楷書の学習 ・唐四大家について学ぶ ・楷書古典探求	なし	・書写と書道の違い、漢字の歴史および五つの書体について理解することができる。	・書の歴史基礎カード
	5	※唐四大家の用筆の特徴を理解する ※自己字数設定臨書（半紙2～12字） ※半切 1/3 仕上げ、批評会 ※探求プリントまとめ		・唐代の楷書を通して用筆や運筆の違いからくる表現の違いを理解し古典を選択。主体的に古典の書美を探り、表現することができる。	・楷書基礎カード ・楷書古典探求カード
	6	○篆刻（唐四大家の楷書を参考） ・撰文・検字・印稿 ・布字・運刀・押印・完成 ・印の効用を模索する		・用筆・運筆や全体構成について班活動における他者の意見も生かしながら主体的に工夫することができる。	・漢字条幅（半切1／3）
	7	○楷書古典を参考にした漢字仮名交じりの書 ※ことわざを書く		・唐代の楷書をもとに創作（印稿）をつくり、篆刻の手順、用具の扱い方を理解しながら自用印をつくることができる。	・印材(1.5mm角)他
	8	○硬筆による漢字仮名交じりの書		・唐代の楷書での学びをもとに漢字仮名交じりの書を意図に応じて構成を工夫して表現することができる	・硬筆検定受験
	9	○行書の学習 ・行書の特徴について学ぶ		・硬筆の基礎を理解し、硬筆で楷書・行書を表現することができる。	・行書基礎カード
	10	・行書古典探求 ※蘭亭序・争坐位文稿・蜀素帖・風信帖 ※古典選択・探求カード記入・臨書 ※自己字数設定臨書（ゴール：半切 1/2） ※半切 1/2 仕上げ、批評会		・蘭亭序・争坐位文稿・蜀素帖・風信帖について、用筆・運筆の特徴を理解することができる	・行書古典探求カード
	11	○行書古典を参考した漢字仮名交じりの書 ※俳句で創作する		・行書古典での学びをもとに意図に応じて字数を設定、構成を工夫して表現することができる	・半切1／2
	12	・漢字仮名交じりの書（行書古典を参考に） ※漢字と平仮名の調和・全体構成の工夫 ※創作の仕上げ・作品批評会		・漢字と仮名の調和、全体の構成について班活動における他者の意見も生かしながら主体的に工夫することができる	・創作カード
	1	○硬筆による漢字かな交じりの書		・硬筆における楷書・行書の特徴を理解し、漢字と仮名を調和させて表現することができる。	・硬筆検定受験
	2	○仮名の学習 ・仮名の成立と種類 ・仮名の基本的な筆使い・いろは歌 ・蓬莱切れと散らし書き		・仮名の成立や種類について理解することができる	・仮名基礎カード
	3	・仮名古典探求 ※高野切第三種・関戸本古今和歌集 ※古典選択・探求カード記入・臨書 ※散らし書きの工夫		・変体仮名や連綿を理解し工夫しながら表現することができる	・仮名古典探求カード
2	3	※臨書仕上げ・カード記入 ○篆書・隷書の学習 ※篆書・隷書の用筆の基礎		・高野切第三種・関戸本古今和歌集の用筆や運筆の違いからくる表現の違いを理解し古典を選択。主体的に古典の書美を探り、表現することができる。	
				・篆書、隷書の歴史を理解することができる。 ・篆書、隷書の用筆・運筆を理解し表現することができる。	

# 令和2年度シラバス 年間学習計画

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	学科 学年 類型	フロンティア科 1 年	単位数	2 単位
学 期	月	学習単元 項目 教科書：書Ⅰ（光村図書）	定期 テスト	学習のポイント 留意事項 評価規準	備考 使用教材		
1	4	○書写から書道へ ○楷書の学習 ・唐四大家について学ぶ ・楷書古典探求	なし	・書写と書道の違い、漢字の歴史および五つの書体について理解することができる。	・書の歴史基礎カード		
	5	※唐四大家の用筆の特徴を理解する ※自己字数設定臨書（半紙2～12字） ※半切 1/3 仕上げ、批評会 ※探求プリントまとめ ○篆刻（唐四大家の楷書を参考）		・唐代の楷書を通して用筆や運筆の違いからくる表現の違いを理解し古典を選択。主体的に古典の書美を探り、表現することができる。	・楷書基礎カード ・楷書古典探求カード		
	6	・撰文・検字・印稿 ・布字・運刀・押印・完成 ・印の効用を模索する ○硬筆による漢字仮名交じりの書		・用筆・運筆や全体構成について班活動における他者の意見も生かしながら主体的に工夫することができる。	・漢字条幅（半切1／3）		
	7	○行書の学習 ・行書の特徴について学ぶ ・行書古典探求		・唐代の楷書をもとに創作（印稿）をつくり、篆刻の手順、用具の扱い方を理解しながら自用印をつくる ことができる。	・印材(1.5mm角)他		
	8	※蘭亭序・争坐位文稿・蜀素帖・風信帖 ※古典選択・探求カード記入・臨書		・硬筆の基礎を理解し、硬筆で楷書・行書を表現することができる。	・硬筆検定受験		
	9	※自己字数設定臨書（ゴール：半切 1/2） ※半切 1/2 仕上げ、批評会 ○行書古典を参考した漢字仮名交じりの書 ※俳句で創作する		・蘭亭序・争坐位文稿・蜀素帖・風信帖について、用筆・運筆の特徴を理解することができる	・行書基礎カード		
	10	・漢字仮名交じりの書（行書古典を参考に） ※漢字と平仮名の調和・全体構成の工夫 ※創作の仕上げ・作品批評会		・行書古典での学びをもとに意図に応じて字数を設定、構成を工夫して表現することができる	・行書古典探求カード		
	11	○硬筆による漢字かな交じりの書  ○仮名の学習 ・仮名の成立と種類 ・仮名の基本的な筆使い・いろは歌		・漢字と仮名の調和、全体の構成について班活動における他者の意見も生かしながら主体的に工夫することができる	・半切1／2  ・創作カード		
	12	・蓬萊切れと散らし書き ・仮名古典探求 ※高野切第三種・関戸本古今和歌集 ※古典選択・探求カード記入・臨書		・硬筆における楷書・行書の特徴を理解し、漢字と仮名を調和させて表現することができる。	・硬筆検定受検		
	3	1		※散らし書きの工夫 ※臨書仕上げ・カード記入 ○篆書・隸書の学習 ※篆書・隸書の用筆の基礎	・変体仮名や連綿を理解し工夫しながら表現することができる	・仮名基礎カード ・仮名古典探求カード	
2			・蓬萊切れの特徴を理解し、散らし書きの工夫をすることができる				
3			・高野切第三種・関戸本古今和歌集の用筆や運筆の違いからくる表現の違いを理解し古典を選択。主体的に古典の書美を探り、表現することができる。 ・篆書、隸書の歴史を理解することができる。 ・篆書、隸書の用筆・運筆を理解し表現することができる。				

令和2年度 シラバス 年間学習計画

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	学科 学年 類型	普通科2年・文系	単位数	2単位
----	----	----	-----	----------	----------	-----	-----

学期	月	学習単元 項目	定期 テスト	学習のポイント 留意事項 評価規準	備考 使用教材
		教科書：			
1	4	○仮名の書 ・古筆研究「三色紙の学習」	なし	・古筆を選択し、主体的に古筆の書美を探り、表現することができる。	
	5	※三色紙について学ぶ ※三色紙の選択臨書 ・牧水かるたをつくろう ※若山牧水について		・郷土の歌人の思いをはせ、歌に込められた意味も味わいながら意図に応じて仮名作品として表現することができる。	
	6	※連綿・散らし書き等構成の工夫 ※上の句、下の句二葉にまとめる ※作品仕上げ 表装 ※批評会 学習カード ○硬筆による漢字仮名交じりの書		・硬筆における各書体の特徴を理解し、漢字と仮名を調和させて表現することができる。	・硬筆検定受検
2	7	○隸書・草書の学習		・隸書、草書についてその特徴を理解し表現することができる。	
	8	○篆書・篆刻の学習 ・自選のことば「漢字2字」を篆刻で表現する		・篆書について、その特徴を理解し表現することができる。	・印材 ・印床 ・印刀 ・印泥
	9			・篆刻の美とその効用を理解し、意図に応じて表現することができる。	・条幅（半切1／2）
3	10	○漢字かな交じりの書		・漢字仮名交じりの書で、墨色、構成など作者の意図に応じて表現することができる。	・半切1／2
	11				
	12	○硬筆による漢字かな交じりの書		・硬筆における各書体の特徴を理解し、漢字と仮名を調和させて表現することができる。	・硬筆検定受検
	1	○古典研究		・これまでに学んだ古典から選択し、主体的にその美を探りながら臨書することができる。	・条幅、料紙 ・探求カード
	2				
	3				

令和2年度 シラバス 年間学習計画

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	学科 学年 類型	普通科2年・理系	単位数	1単位
----	----	----	-----	----------	----------	-----	-----

学期	月	学習単元 項目	定期 テスト	学習のポイント 留意事項 評価規準	備考 使用教材
		教科書：			
1	4	○仮名の書 ・古筆研究「三色紙の学習」 ※三色紙について学ぶ ※三色紙の選択臨書	なし	・古筆を選択し、主体的に古筆の書美を探り、表現することができる。	・料紙
	5				
	6	○隸書・草書の学習  ○篆書・篆刻の学習 ・自選のこぼし「漢字2字」を篆刻で表現する		・隸書、草書についてその特徴を理解し表現することができる。 ・篆書について、その特徴を理解し表現することができる。 ・篆刻の美とその効用を理解し、意図に応じて表現することができる。	・印材 ・印床 ・印刀 ・印泥 ・硬筆検定受検
2	7	○硬筆による漢字仮名交じりの書		・硬筆における各書体の特徴を理解し、漢字と仮名を調和させて表現することができる。	
	8	○漢字かな交じりの書		・漢字仮名交じりの書で、墨色、構成など作者の意図に応じて表現することができる。	・半切1／2
	9				
3	10	○硬筆による漢字かな交じりの書		・硬筆における各書体の特徴を理解し、漢字と仮名を調和させて表現することができる。	・硬筆検定受検
	11	○古典研究		・これまでに学んだ古典から選択し、主体的にその美を探りながら臨書することができる。	・条幅、料紙 ・探求カード
	12				
	1				
	2				
	3				